

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究				
研究組織	代 表 者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	田村 敏広
	研究協力者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	剣持 久木
		所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人
		所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	孫 暁剛
	発 表 者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	田村 敏広

講演題目
国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究
研究の目的、成果及び今後の展望
目的 国際関係学部では、平成 30 年度にカリキュラムを刷新し、基礎教育の充実と専門教育の再編を通じて、学際的で深い学びを実現する体制を整えてきた。また、高校生や保護者等に向けた広報にも取り組んできたが、近年は志願者減が見られ、新カリキュラムの内容や学部の魅力が十分に浸透しているとは言い難い状況にある。そのため、広報戦略の見直しが課題となっている。 一方、国際関係学研究科においても、コロナ禍の影響等により減少した留学生志願者数の回復を図るため、より効果的な広報活動の展開が求められている。 本研究は、学部・研究科将来構想委員会や各種委員会が連携し、効果的な広報戦略の検討と実施を行うことを目的とする。これにより、学部では新カリキュラムの認知向上を図り、研究科では留学生や社会人に対応した広報の在り方を構築する。具体的には、学部案内の刷新、特設ウェブサイトの改訂、SNS（インスタグラム等）の活用、オープンキャンパス等の広報イベントの実施を通じて、広報体制の強化を目指す。 成果 【学部】 受験生の情報収集がウェブ媒体へと大きく移行している現状を踏まえ、学部案内の大幅な改訂を実施した。従来の 22 ページ構成から、8 ページの観音開き形式へと再編し、掲載内容を精選することで、携帯性と訴求力の向上を図った。あわせて、詳細情報については QR コードを通じて特設ウェブサイトへ誘導する設計とし、紙媒体とウェブコンテンツの連携を強化した。また、内容の検討にあたっては、入試実施委員会やオープンキャンパス委員会と連携し、受験生にとって有益な情報提供となるよう改善を行った。さらに、潜在的な受験生およびその保護者に向けて、学部の学びや学生生活を発信する公式インスタグラムの運用を継続し、広報活動の充実を図った。 【研究科】 研究科においては、志願者減少の要因分析と広報戦略の見直しを進めるとともに、広報活動の強化に取り組んだ。具体的には、外部機関主催の大学院進学説明会への参加に加え、対面形式による研究科オープンキャンパス（留学生対象および学内生対象）を複数回実施し、志願者層の拡大を図った。また、特設ウェブサイトの内容についても、留学生や社会人を対象とした制度や研究環境に関する情報を充実させるなど改善を行った。さらに、日本語教育機関等への訪問を通じて情報交換および広報活動を行い、留学生志願者の回復に向けた取り組みを継続した。